

平成 25 年 1 月 25 日  
住友生命保険相互会社

## 受賞者決定のお知らせ

住友生命社会貢献事業

### 第 6 回『未来を強くする子育てプロジェクト』

～子育て支援 2 公募事業 受賞者決定～

子育て支援活動 12 組 女性研究者への支援 10 名

住友生命保険相互会社(代表取締役社長 佐藤義雄)では、平成 19 年からよりよい子育て環境の整備にむけた「未来を強くする子育てプロジェクト」に取り組んでおります。この一環として、「子育て支援活動の表彰」と「女性研究者への支援」の 2 つの公募事業を実施しており、これまで過去 5 回の表彰を通じて、37 組の子育て支援活動と 50 名の女性研究者への支援を行ってまいりました。第 6 回目である本年度は、以下のとおり 12 組の子育て支援活動と 10 名の女性研究者への支援を決定いたしました。

#### 各事業の表彰概要

##### ◆子育て支援活動の表彰

子育て支援に資する諸活動を行っている個人・団体 173 組からご応募いただきました。活動のユニークさ汎用性などを考慮したうえ、未来大賞 2 組、未来賞 10 組の計 12 組を決定し、未来大賞には「石樽の里コミュニティ」と「特定非営利活動法人 鹿児島ボランティアバンク」を選出しました。未来大賞には 100 万円、未来賞には 50 万円の副賞を今後の活動にお役立ていただきます。

また、未来大賞の「石樽の里コミュニティ」には文部科学大臣賞を、「特定非営利活動法人 鹿児島ボランティアバンク」には厚生労働大臣賞が授与されます。

##### ◆女性研究者への支援

人文・社会科学分野を専攻し、現在子育て中でもある女性研究者 119 名の方からご応募いただきました。「スミセイ女性研究者支援」として 10 名の受賞者を決定。10 名の受賞者には、1 年間あたり上限 100 万円の研究助成金を最大 2 年間支給します。

また、表彰式を平成 25 年 2 月 4 日(月)にホテルニューオータニ東京にて開催いたします。  
各募集事業の概要・受賞者については、次頁の通りです。

## 【住友生命社会貢献事業『未来を強くする子育てプロジェクト』概要】

主 催:住友生命保険相互会社

後 援:文部科学省、厚生労働省

審 査 員:『未来を強くする子育てプロジェクト』選考委員会メンバー

選考委員長 汐見 稔幸氏 (白梅学園大学学長・東京大学名誉教授)

選考委員 大日向 雅美氏 (恵泉女学園大学大学院教授)

奥山 千鶴子氏 (特定非営利活動法人びーのびーの理事長)

米田 佐知子氏 (認定 NPO 法人神奈川子ども未来ファンド事務局)

橋本 雅博 (住友生命保険相互会社 代表取締役専務執行役員)

審査結果:

### ●子育て支援活動の表彰

募集内容: より良い子育て環境づくりに取り組む個人・団体を募集。規模は不問。各地域の参考になる特徴的な子育て支援活動を社会に広く紹介し、他地域への普及を促すことで、子育て環境を整備し、子育ての不安を払拭することを目的としています。

- 応募規定:
- ◆ 子育て支援に資する活動を継続的に行っていること。
  - ◆ 活動内容が社会に認められ、ロールモデルとなりうるものであること。
  - ◆ 活動の公表を了承していただける個人・団体であること。
  - ◆ 日本国内で活動している個人・団体であること。

- 表 彰:
- ◆ 文部科学大臣賞(未来大賞受賞者の1組に授与)／表彰状
  - ◆ 厚生労働大臣賞(未来大賞受賞者の1組に授与)／表彰状
  - ◆ 未来大賞 2組 /表彰状、副賞 100万円
  - ◆ 未来賞 10組 /表彰状、副賞 50万円

応募数:計 173 の団体ならびに個人

### ●女性研究者への支援

募集内容:“育児”のため研究の継続が困難となっている女性研究者及び育児を行いながら研究を続けている女性研究者が、研究環境や生活環境を維持・継続するために助成金を支給します。人文・社会科学分野における萌芽的な研究の発展に期待する助成です。

- 応募規定:
- ◆ 人文・社会科学分野の領域で、有意義な研究テーマを持っていること。
  - ◆ 原則、応募時点で未就学児(小学校就学前の児童)の育児を行っていること。
  - ◆ 原則、修士課程資格取得者または、博士課程在籍・資格取得者であること。
  - ◆ 2名以上の推薦者がいること(うち1名は、従事した、または従事する大学・研究所等の指導教官または所属長の推薦が必須)。
  - ◆ 現在、大学・研究所等に在籍しているか、その意向があること。
  - ◆ 支援を受ける年度に他の顕彰制度、助成制度で研究助成を受けていない方に限ります。(育児休業給付などは、研究助成に当たりません。)

※この事業は、過去の実績ではなく、子育てをしながら研究者として成長していく方を支援したいと考えています。そのため、研究内容のみで判断することはありません。

※国籍は問いませんが、応募資料等への記載は日本語に限ります。

表 彰:「スミセイ女性研究者支援」10名

助成金として、1年間100万円(上限)を最大2年間支給します。

支給期間は平成25年4月から平成27年3月までの2年間です。

応募数:計 119名

## 【第6回『未来を強くする子育てプロジェクト』受賞者一覧】

### ■子育て支援活動の表彰 12組

#### 未来大賞 2組

(団体名・地域・活動内容)

#### 文部科学大臣賞

いしぐれ さと

#### ・石樽の里コミュニティ (三重県いなべ市)

##### 小学校を拠点とした「地域全体で子どもたちを見守り育てる」ための活動

石樽小学校内にある一般開放エリア「地域ゾーン」では、地域住民が先生となって子どもたちに囲碁やパン作りを教えている。子どもたちの安全を考え、校門の閉鎖や監視カメラの設置を行っている学校が多い中、本事業では、地域の目で子どもたちを見守るため、開放的な空間を作り出している。学校を支えるためならどんな苦勞もいとわない「石心(いしころ)」という伝統的な気風のもと、地域全体で子どもたちを見守り育てている。



#### 厚生労働大臣賞

とくていひ えいりかつどうほうじん かごしま

#### ・特定非営利活動法人 鹿児島ボランティアバンク (鹿児島県鹿児島市)

##### 子ども、高齢者とみんなが幸せになれる「里爺・里婆事業」

ひとり親家庭の子どもたちと、孫と離れて暮らす高齢者をマッチングさせる「里爺・里婆事業」を展開。事業スタッフは、子育て経験者等であるため、当事者目線での活動が行われている。鹿児島県では、孤立化し、頼れる人が近くにいないひとり親家庭が多い。本事業のような子育て支援活動はひとり親家庭の心の支えとなり、また、里爺・里婆にも子どもたちと触れ合い、活力を生み出す場となっている。



いわむら だほんまちしょうてんがいしんこうくみあい

・岩村田本町商店街振興組合（長野県佐久市）

商店街をあげて、昔ながらの「長屋の子育て」

18歳未満の子どもを持つ世帯を対象とした会員制の「子育て村」を運営。地域になかなか馴染むことのできない家庭や、核家族化によって孤立し、子育てに悩む母親の支援を目的としている。本事業のスタッフは、商店街で働く若手経営者たちであり、本業の合間を縫って、魅力的な子育てイベントづくりに奮闘している。イベント終了後には、必ずアンケートを実施し、地域の人たちのニーズを収集・反映している。



とくていひ え いりかつどうほうじん

・特定非営利活動法人 ウイズアイ（東京都清瀬市）

赤ちゃんを真ん中に、家族、地域、みんなをつなぐお手伝い

悩みを抱えた新米ママたちが集まり、助け合いながら子育てを行える場を提供。同世代の子どもを持つ親の交流の場をつくることで、横の関係を築き、子どもの成長過程で起きる問題にグループで対処している。幾度にもわたる子育て講座を実施しており、その中で交流を深めた新米ママたちが、自主的にサークルを立ち上げるケースもある。今では100以上のサークルが誕生。また、父親向けの育児講座も定期的開催。



クレイジー パンプキン

・夢 遊空楽彩 Crazy Pumpkin（神奈川県秦野市）

障がいのある子もない子も、絵筆を握ってのびのびと自己表現

28年間にもわたって、絵画指導を通じた子育て支援を実施。障がいを持った子どもも通っており、個々のペースに合わせた指導を行っている。定期的に展覧会も開催しており、障がいを持った子どもの達成感や自信につながると共に、障がいを知ってもらう機会ともなっている。生徒の多くが、中高生になっても絵画教室に通い続けており、絵画教室が悩みを相談できる特別な憩いの場所として認識されている。



こそだ

## ・子育てオーダーメイド・サポートこもも（青森県青森市）

### 妊産婦さんを対象とした「オーダーメイド」の子育て支援

母親同士が知り合う場の提供や産前産後コーディネーター・ヘルパーの派遣事業を行う「マタニティ交流会&プチ講座」を運営。誰にも相談ができず、子育てに疲れてしまいがちな母親をサポートすることを目的としている。単にコーディネーター・ヘルパーを派遣するだけでなく、家族の状況のヒアリングや子育て環境を整えるための必要な援助をしている。また、周囲の人との助け合いや行政・民間のサポートも推奨している。



いっばんしやだんほうじん

## ・一般社団法人 ジェスペール（東京都中野区）

### 助産師のネットワークを通じて、被災地のお母さんと赤ちゃんをサポート

出産・育児環境の整備が課題となる被災地において、現地の助産師たちと協力しながら、母子の心身ならびに妊産婦同士の親睦を深めること目的としたサロン活動を実施。現在では、被災地各地の助産師たちとリレーションを築き上げ、地域の実状に応じた妊産婦支援を行っている。



とくていひえいりかつどうほうじん

かんきょうきょういくけんきゅうかい

## ・特定非営利活動法人 しずおか環境教育研究会（静岡県静岡市）

### 静岡市内の里山で、乳幼児と保護者を対象にした環境教育プログラムの実施

里山での“自然遊び”を通じて、子どもたちが多種多様な生き物や自然に触れ合える場を環境教育プログラムとして提供している。子どもたちに自ら「感じ、考え、行動する」力を身につけさせると共に、環境を学ぶ機会の創出を目的としている。里山で“自然遊び”を楽しむ子どもたちは、次第に自ら工夫し、自然遊びを楽しめるようになる。また、母親たちも里山が子育てに関する情報交換の場となっている。



とくていひえいりかつどうほうじん

・ **特定非営利活動法人 せき・まちづくり NPO ぶうめらん（岐阜県関市）**

**お寺で、子どもたちが元気よく遊び、大きく成長していく町を目指して**

お寺を拠点にした、多世代交流・子育て支援活動「てらっこ」を実施。“子育てを支えながら、お寺を憩いの場として復活させること”を目的に本事業を開始。絵本、工作、わらべうたなどさまざまな子ども向けのイベントを行っている。その中でも、お茶とお菓子を楽しみながら住職の法話を聞く「住職とのティータイム」というイベントが特に人気となっており、毎回会場を埋め尽くすほどである。



とくていひえいりかつどうほうじん たせだいこうりゅうかん

・ **特定非営利活動法人 多世代交流館になニーナ（新潟県長岡市）**

**中越地震の仮設住宅を再利用し、多世代交流の場を提供**

子育ての悩みを地域間で分かち合う「子育てサロン」や手芸など好きな手仕事を持ち寄り楽しむ「手仕事カフェ」、体を動かして心も元気になる「健康お茶会」の活動を実施。人や地域とのつながりを日常から築いていくことを目的にスタート。いずれの活動においても、講習によるスタッフ教育が行われ、順調に世代交代が行われているほか、シニア世代参加による多世代交流が行われ、継続的な地域間の強い結びつきを形成している。



とくていひえいりかつどうほうじん

こ

・ **特定非営利活動法人 つみっくらぶ（兵庫県小野市）**

**大型の木製ブロックを使った「工作体験」「環境教育」「防災支援」**

手軽に組み立てることが可能な大型の木製ブロックである「つみっく」を使った子ども遊びのワークショップを開催。「つみっく」を通じて、1つの作品を共同作業で作上げていく「工作体験」、日本の国土・環境保全の大切さを学ぶ「環境教育」が本活動の目的となっている。また、「防災支援」にも取り組んでおり、避難所においては、更衣室や FM 局のブースなどさまざまな用途で活用されている。



とくていひえいりかつどうほうじん      こ      おうえんたい  
・ 特定非営利活動法人 **でんでん子ども応援隊**（東京都北区）

**未来ある子どもたちと、子育てに頑張るお母さんたちの「応援隊」**

発達障がいを抱える子どもたちも不登校の子どもたちもみんな一緒に、勉強や人間性を学ぶ場として「学習サポート教室」を運営。子どもたちに、多様な生き方を認め、他者を思いやることのできる大人になってもらうことへの学びを目的としている。また、乳幼児を抱えた母親たちへのサポートとして、働いていない母親でも子どもを預けることができる「でんでん ROOM」や、子どもと共に参加可能なゴスペル講座も行っている。



■女性研究者への支援 10名 (氏名・所属・研究テーマ、50音順、敬称略)

うえだ みちこ  
・上田 路子 (シラキューズ大学 講師)

研究テーマ:自殺の要因及び自殺対策の実証研究

おおつか あやみ  
・大塚 彩美 (横浜国立大学大学院 環境情報学府 環境イノベーションマネジメント専攻)

研究テーマ:省エネ行動の意思決定構造の分析および行動促進を目的としたアプローチに関する研究

あやの  
・コンペル 綾乃 (お茶の水女子大学 リーダーシップ養成教育研究センター)

研究テーマ:在外ドイツ人の歴史的経験 第二次世界大戦と在外ドイツ人

しまだ きょうこ  
・島田 恭子 (東京大学大学院 医学系研究科 精神保健学教室)

研究テーマ:良好なコミュニケーションを通じた人間関係向上プログラムの開発  
ワーク・ライフ・バランス とウェル・ビーイング

たがわ まお  
・田川 麻央 (お茶の水女子大学大学院 人間文化創成科学研究科 比較社会文化学専攻)

研究テーマ:第二言語での日本語学習者の読解過程 日本語学習者の読解過程における要点関係  
図作成活動の役割

たむら ちえこ  
・田村 知栄子 (筑波大学大学院 人間総合科学研究科 ヒューマン・ケア科学専攻)

研究テーマ:未就学児をもつ母親の育児ストレス軽減のためのストレスマネジメントプログラムの構築  
とその効果に関する研究

つだ くみこ  
・津田 久美子 (十文字学園女子大学 非常勤講師)

研究テーマ:フランス現代作家における「母」の再考 ー対象関係論を中心にー

はやし  
・林 みちこ (島根大学 教育学部 嘱託講師)

研究テーマ:明治政府の外交政策と美術 国宝出品にみる 1910年日英博覧会の再評価を中心として

はらぐち はるみ  
・原口 春海 (神戸大学大学院 システム情報学研究科 システム科学専攻)

研究テーマ:セル生産システムにおける人的要因を考慮した作業計画と従業員教育に関する研究

わかさ みなこ  
・若佐 美奈子 (京都大学大学院 教育学研究科 臨床教育学専攻)

研究テーマ:心理臨床における無意識的空想とそれへのセラピストの影響に関する研究  
ー女性セラピストの妊娠・出産に注目してー

以上